

会議室に ScreenBeam と大型ディスプレイ ファシリティと IT を融合した 新しいカタチ

SB Technology

ScreenBeam® 導入事例

ICT サービス事業を基盤として成長を続けてきた SB テクノロジーグループ。同社では ScreenBeam の導入で、Windows10PC、Mac、タブレット、スマホの区別無く、ワイヤレス且つ遅延の無い画面共有で新しい働き方にマッチしたスムーズな会議スタイルを実現しました。理想的なミーティングのカタチを模索し続けてきた同社が、ScreenBeam を導入したことで「大型ディスプレイ上で各自のモバイル端末の画面を共有しながら活発なディスカッションを行う」と言う会議スタイルへと自然に移行できた経緯、実現できた課題解決、現在の活用状況や今後のご展望などをお聞きました。



これまでの会議室での不満…

- ・画面投影のケーブル切り替えで会議の中断が起きていた
- ・各端末用のケーブルを常設しており会議室の景観を損ねていた
- ・ケーブル、アダプターなどの会議室備品の紛失・不良が多発していた
- ・既存ワイヤレス製品の仕様ではビジネス利用に不向きと考えていた

より良い会議のカタチを 模索したい！

- ・ディスプレイへの画面投影をケーブル不使用で行いたい
- ・常設ケーブルを減らし会議室の景観をスマートにしたい
- ・OS フリーで画面投影したい



ScreenBeam®
を導入！

導入効果

- ・ケーブルの常設や管理コストを大幅削減
- ・ケーブルの少ないスマートな会議室を構築
- ・Miracast / AirPlay 対応で
持ち寄る端末がそのまま使える画面投影を実現
- ・中断なし、投影遅延なしの画面共有で
スムーズな会議を実現

今後は OS フリーを最大限会議に活かし、スマホ内の画像・動画も活用したいです。また、リーススペースなどにも導入し、どこでも簡単に大画面共有が行える新しいビジネススタイルを実現したいです！





取締役上席執行役員 児玉 崇 氏

ユーザー、管理者の 運用し易さのため 「Miracast/AirPlay 対応」 は必須ポイント

私たちは WindowsPC を主に使っていますが、もちろんグループ会社やお客様には Mac や iPad を使う人もいます。そのため、会議室には多種多様なケーブル類の備品を常備していたため、管理も非常に煩雑でした。こういった経緯から Miracast と AirPlay が利用でき、OS フリーと言う点も導入ポイントでした。

取締役上席執行役員 児玉 崇 氏

管理者視点から見ても、もし在宅勤務時に社内ユーザーから ScreenBeam に関する問い合わせがあっても同一ネットワークに入ることによって遠隔管理ができる点も現代の働き方にマッチしていると思えます。

情報システム部 萬屋 政佳 氏



情報システム部 萬屋 政佳 氏

ScreenBeam の 「遅延の無いミラーリング」 が、過去のワイヤレス製品 への失望を払拭

以前からワイヤレスの画面共有製品を探していたのですが、PC とディスプレイの距離が数 10cm でも「遅延」「コマ落ち」「フリーズ」が起き、例えばお客様に会議室で動画をご覧いただいている途中で有線に繋ぎ直さなければならないなど、ビジネス運用に耐えられないものでした。こういった経緯からワイヤレス画面転送には一種の失望、諦めがあったのですが、ScreenBeam は「ワイヤレスなのに遅延が無い」と聞き、試してみると遅延はなし。他製品も試験しましたが、ScreenBeam のみが遅延ストレスを感じなかったことが、導入のポイントとなりました。

情報システム部 萬屋 政佳 氏



総務部ファシリティマネジメントグループ 永松 淳一 氏

「ワイヤレス」と 「OS フリー」が、 新しい会議室の形を 定着させてくれました

会議室からケーブルを削減できたので、管理と整理が非常に簡単になりました。見た目も非常にすっきりし、ScreenBeam はファシリティと融合・連携する製品だと感じています。今後は全ての会議室から画面共有のためのケーブルやアダプターを撤去したいと考えています。

総務部ファシリティマネジメントグループ 永松 淳一 氏

今は大型ディスプレイのある広い会議室に各自のモバイル端末を持参して参加、と言う会議スタイルが自然に定着し、心地よい会議室空間が実現できたと感じています。

今後はオープンスペース、オフィススペースのディスプレイにも ScreenBeam を設置して、より自由なミーティングのスタイルを実現したいです。

取締役上席執行役員 児玉 崇 氏

ScreenBeam®



ScreenBeam シリーズはワイヤレス・OS フリー・遅延極小の画面ミラーリングレシーバーです。会議室、オフィス、学校、など大画面で同じものを見たいシーンで採用されています。



SB Technology

企業名	SB テクノロジー株式会社
設立	1990 年 10 月 16 日
資本金	1,176 百万円 (2020 年 3 月末現在)
代表者	代表取締役社長 CEO 阿多 親市
本社所在地	東京都新宿区新宿六丁目 27 番 30 号 新宿イーストサイドスクエア 17 階
事業内容	ビジネス IT ソリューション コーポレート IT ソリューション テクニカルソリューション EC ソリューション
URL	https://www.softbanktech.co.jp/